

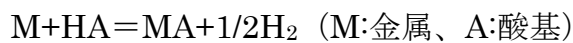
【化学研磨】

化学研磨は古くからキリンス処理（硝酸あげ）などで知られている化学的な研磨方法で、電解研磨のように電気エネルギーを使うものではないので、亜鉛、カドミウムなどのほかは、強酸、強アルカリを使用する。

●化学研磨では、金属が研磨浴に研磨浴に溶解することが必要である。金属の溶解は、原則的に三つの形態に分かれる。

（１）水素イオンよりイオン化傾向の大なる金属：

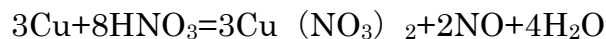
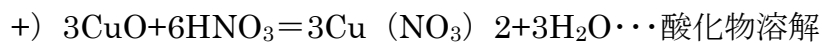
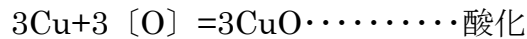
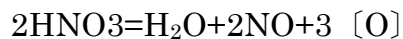
この場合には、金属と水素イオンの置換という形で溶解する。



（２）水素イオンよりイオン化傾向の小なる金属：

この場合は、金属の酸化が行われ、次いで酸化物の溶解という形で溶解する。

（例）銅の溶解・・・銅が硝酸に溶解する場合



（３）両性金属の場合：

アルミニウム、亜鉛などの両性金属の溶解は、（１）（２）の溶解と異なり、非金属性質を示す。



（引用文献：最新めつき技術 産業図書）